

令和5年度社会福祉法人久慈市社会福祉事業団事業報告

I 運営の概要

久慈市社会福祉事業団は、平成15年3月に久慈市により設立され、特別養護老人ホームぎんたらず久慈、養護老人ホーム養寿荘のほか、大川目地区、元気の泉、山根地区、宇部地区のデイサービスセンターについて、久慈市から指定管理者の指定を受けて利用者の利便性とサービスの質の向上に努めてきたところである。

また、平成28年度に久慈市から事業譲渡を受け、新たに「居宅介護支援事業」、「訪問介護事業」、「訪問入浴介護事業」、「居宅介護・重度訪問介護・行動援護事業（障害者）」の4事業を直営事業として開始したところであるが、「元気の泉訪問介護事業」及び「元気の泉訪問入浴介護事業」並びに「居宅介護・重度訪問介護事業（障害者）」について、人員体制の不足により事業の継続が困難であるため、令和4年3月31日をもって事業を廃止した。

一方では、令和3年度の介護保険法の改正に伴う介護報酬単価の見直しにより、基本報酬単価が微増の改定となったが、昨今の燃料費・物価高騰の影響を受け、介護保険サービス事業所は厳しい財政状況にある。また、介護業界は全国的に人材が不足しており、職員が疲弊し離職者が増加する傾向にある。

なお、平成30年度から指定管理事業所の大川目地区及び宇部地区デイサービスセンターについては、通常規模型通所介護ⁱから「地域密着型通所介護」ⁱⁱへ区分を移行し、令和3年度から元気の泉デイサービスセンターについては、従来の静養型の事業所から機能訓練に特化した自立支援型の事業所としてリニューアルオープンし、事業全体の効率性を見直しを図ったところである。

山根地区デイサービスセンターにおいては、土砂災害特別警戒区域であること及び利用率の低下により事業の継続が困難であるため、令和6年3月31日をもって事業を休止した。

このような中、一層効率的な運営に努めるとともに、基本理念の「利用者の尊厳及び人権を尊重し、その人らしい人生を大切にする」、「利用者の願いや要求に真摯に向き合い、理解し、共感する」、「利用者本位の自立・自己実現・自己決定の過程を支援する」ことに則り、

^{あんしんきょうせい}『安信共誠』を標語に掲げ、一層利用者の利便性とサービスの質の向上に努めた。

- ・利用者が「安」心できる施設を目指します。
- ・家族に「信」頼される施設を目指します。
- ・地域と「共」に歩み、共存する施設を目指します。
- ・職員は「誠」実なサービスを目指します。

（法人は職員に誠実な対応を目指します）

II 重点目標

(1) 感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染防止に係る対応について、『施設に持ち込まない』を念頭に職員及び利用者の情報収集に努めるとともに、『うがい、手洗い、マスク着用、手指消毒』を徹底して実施したが、入所施設の養寿荘で施設内クラスターが発生した。

- ・感染者や濃厚接触者が発生した場合等に備え、個室管理や生活空間等の分けに係るシミュレーションや、人員体制に関する施設・事業所内、法人内等の関係者の相談、物資の状況の把握を行うとともに、感染者等が発生した場合の対応方針について、利用者や家族と情報を共有した。

(2) 経営の効率化

- ・介護報酬等について、各種加算を受けられるよう体制を整備した。
- ・令和4年度の決算に基づき「社会福祉充実計画」を精査した。また、老人福祉施設等の移管に係り、現在久慈市と協議を進めているところである。

(3) 人材育成

- ・キャリアパス制度を制定し、スキル・知識・技術・資格を評価し昇級に反映した。
- ・人事評価制度を制定し、1年間の行動・活動を階層ごとに評価し、昇給額及び賞与額に反映した。
- ・介護福祉士の不足解消に向け、法人独自の奨学金貸付事業の周知に努めたが、応募者がなく貸付には至らなかった。
- ・若年層に魅力ある求人情報の発信に努めるとともに、在職者には事業団の福利厚生について周知を図り離職者の減少に努めた。令和5年度は3名を採用し、4名が退職した。
- ・短時間勤務等の雇用形態の多様化を図り、働きやすい環境を整えたことにより、介護パート職員2名を雇用した。

(4) サービスの質の向上

- ・利用者一人ひとりのニーズや課題の分析・評価等に基づき、利用者の自己選択・自己決定を尊重した介護サービスを提供した。
- ・身体拘束廃止やリスクマネジメントに積極的に取り組むとともに、事故・ヒヤリ・ハット事例を検証し、利用者が安全・安心に生活ができるよう支援した。
- ・ホームページについて、SNS（インスタグラム）・施設広報・採用情報等の発信を行った。

(5) 研修体制の充実

- ・施設ごとに各種研修計画を作成し、オンライン研修（ARCS等）を活用して積極的な参加に努めた。
- ・研修においては、先進的・専門的知識と技術の習得に努めるとともに、受講した職員による伝達講習を実施し、広く知識・技術の浸透を図った。

(6) 地域との共生

- ・地域に開かれた施設として近隣の各種団体との交流や、教育機関等の実習生及びボランティア等の受け入れを計画したが、新型コロナウイルス感染防止に係る対応により、感染症対策を行ったうえで、若干ではあるが実習・ボランティアの受け入れを実施することができた。

Ⅲ 事業運営

1 事業団事務局

事業団の理事会、評議員会の開催及び出納調査を実施し、適正な法人運営に努めた。

各施設に苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図るため情報交換会を開催したほか、各種事業を下記のとおり実施した。

(1) 理事会（定数：理事6名、監事2名）

理 事	久慈匡弘、久松希美子、皆川隆夫、小倉利之、藤原みよ子、谷地忠人
監 事	石渡高雄、佐々木信蔵

<理事会の職務>

- ①法人の業務執行の決定
- ②理事の職務の執行の監督
- ③理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職

会 議 名	期 日	主 な 内 容
第1回理事会	令和5年6月5日	・評議員の選任結果について（報告） ・理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について（報告）〔令和4年10月～令和5年3月までの期間〕 ・職員の退職手当に関する規程等の制定及び組織規程等の一部改正について（報告） ・令和4年度事業報告について ・令和4年度決算について ・令和5年度資金収支補正予算（第1号）について ・第1回定時評議員会の開催について
第2回理事会	令和5年6月26日	・理事長の選定について ・副理事長の選定について ・常務理事の選定について
第3回理事会	令和5年10月5日	・準職員及び臨時職員等の雇用等に関する規程等の一部改正について（報告） ・老人福祉施設等民営化実施計画について ・公の施設の指定管理業務に係る指定期間の延長について ・令和5年度資金収支補正予算（第2号）について
第4回理事会	令和6年3月28日	・理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について（報告）〔令和5年4月～令和5年9月までの期間〕 ・老人福祉施設等の移管に係る協議内容について（報告） ・令和5年度資金収支補正予算（第3号）について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度資金収支予算について

(2) 評議員選任・解任委員会（構成：監事1名、職員1名、外部委員2名の合計4名）

監 事	佐々木信蔵
職 員	長内壽一
外部委員	吉田利昭、古山誠

<評議員選任・解任委員会の職務>

①評議員の選任及び解任

会 議 名	期 日	主 な 内 容
第1回定時評議員会	令和5年5月29日	・評議員の選任について

(3)評議員会（定数：7名）

評 議 員	村田東助、高屋敷真喜子、伊藤武男、小倉明、生平和男、木戸口敏男 根井元
-------	--

<評議員会の決議事項>

- ①理事及び監事の選任又は解任
- ②理事及び監事の報酬等の額
- ③理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- ④計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- ⑤定款の変更
- ⑥残余財産の処分
- ⑦基本財産の処分
- ⑧社会福祉充実計画の承認
- ⑨その他評議員会で決議するものとして法令又は定款で定められた事項

会 議 名	期 日	主 な 内 容
第1回定時評議員会	令和5年6月26日	・令和4年度事業報告について（報告） ・令和4年度決算について ・理事の選任について ・監事の選任について

(4)出納調査（監事：2名）

監 事	石渡高雄、佐々木信蔵
-----	------------

会 議 名	期 日	内 容
監 査 第1回出納調査	令和5年5月26日	・令和4年度事業報告及び会計監査並びに1月～3月までの会計執行状況
第2回出納調査	令和5年8月29日	・4月～6月までの会計執行状況
第3回出納調査	令和5年11月29日	・7月～9月までの会計執行状況
第4回出納調査	令和6年3月5日	・10月～12月までの会計執行状況

(5) 福祉サービスに係る苦情解決事業

第三者委員	佐々木信蔵、高屋敷真喜子、伊藤武男
苦情解決責任者	各施設の施設長
苦情受付担当者	各施設の生活相談員等

会議名	内 容 等							
	施設名	苦情	目安箱	郵送	要望等	計	再掲	
							解決	継続中
情報交換会 (令和6年3月18日)	ぎんたらす久慈	2				2	2	
	養 寿 荘 (特定施設・訪問介護)				2	2	2	
	大川目地区デイサービスセンター				1	1	1	
	元 気 の 泉 (デイ・居宅)				2	2	2	
	山根地区デイサービスセンター				1	1	1	
	宇部地区デイサービスセンター				1	1	1	
	計	2				7	9	9

(6) 各種事業

事業名	期 日	内 容
岩手県社会福祉協議会 I W A T E ・ あんしんサポート事業		社会福祉法人が種別を超えて連携・協力し、暮らしの困りごとを抱えた方の自立を支援する「新しい 支えあいのしくみ」を作ることを目的とした事業。
	令和5年4月14、27日	・生活費等の支援 (8,100円)
	令和6年3月22日	・生活費等の支援 (14,773円)

2 特別養護老人ホームぎんたらず久慈

(1) 家族との交流について

・主な交流行事

夏まつり	7月26日開催	家族0人参加
敬老会	9月13日開催	家族3人参加

・面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会者数	41	67	35	64	44	38	53	48	52	65	45	58	610	50.8

※ オンライン面会含む

(2) 生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・誕生日会 ・こいのぼりフェスティバル参加 ・福祉まつり参加 ・夏まつり
- ・敬老会 ・お楽しみクラブ ・訪問販売 ・ドライブ ・みずき飾り

②健康面の管理については、嘱託医による定期診療及び協力病院と連携を図りながら健康の保持に努めた。(健康診断年1回)

感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止の対応として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、職員への定期的な抗原検査を実施して、感染の防止に努めた。また、文書にて利用者、家族に注意を呼び掛けた。

(3) ボランティアの受け入れについて

ボランティアの受け入れについては、新型コロナウイルス感染防止に係る対応により、実施することができなかった。

(4) 利用者、家族の意見等の反映について

苦情相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。日常生活においては、担当介護員が中心となり、積極的にコミュニケーションを図り利用者の声を介護に反映させるよう努めた。また、家族には広報の発行や面会時の状況報告を通して信頼関係の確立を図った。

(5) 食事について

生活の中で楽しみとなる食事については、利用者の身体の状況及び嗜好を考慮するとともに、適時適温とし、季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 27回 ②麺の日 毎月第3火曜日 ③パンの日 毎月第2・4木曜日
- ④喫茶の日 毎週水曜日 ⑤嗜好調査 1回 ⑥残菜調査 1回

(6) 委員会活動について

内部組織として次の委員会を設置し生活レベルの維持・向上に努めた。

- ①行事委員会 行事、レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②広報委員会 広報の発行、壁紙新聞の作成等を行った。
- ③保健委員会 保健衛生・健康管理に関する活動を行った。
- ④排泄委員会 排泄ケアに関する活動を行った。
- ⑤リスクマネジメント委員会 安全確保、身体拘束廃止の推進等の活動を行った。
- ⑥褥瘡対策委員会 褥瘡発生防止、褥瘡ケアに関する活動を行った。
- ⑦感染対策委員会 感染症の防止、発生時の対策に関する活動を行った。

- ⑧事故防止検討委員会 事故防止、発生時の対応に関する活動を行った。
- ⑨喀痰吸引等に係る安全委員会 喀痰吸引等の安全対策に関する活動を行った。
- ⑩身体的拘束適正化委員会 身体的拘束の適正化策に関する活動を行った。

(7)職員の資質向上について

内部研修を開催するとともに、外部研修への積極的な参加に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会・会議等参加状況 44回
- ②内部研修会開催状況 76回（オンライン研修含む）

(8)利用者の状況について

①月別入退所状況 令和6年3月31日現在（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分													
月初入所人員数	50	50	50	49	49	50	50	50	48	49	49	49	593
入所				1	2	2	1		4	1	1	2	14
退所			1	1	1	2	1	2	3	1	1	1	14
うち末日退所				1				1					2
月末入所人員	50	50	49	49	50	50	50	48	49	49	49	50	593

月初入所人員数には初日入所者を含む。月末入所人員には末日退所者を含む。

②前住地別入所者状況（単位：人）

区分	現 員			令和5年度異動状況						
				入 所			退 所			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市町村										
久慈市	4	43	47	3	11	14	3	11	14	
洋野町	2	1	3							
計	6	44	50	3	11	14	3	11	14	

③年齢別利用者状況（単位：人）

区分	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男		1	2	1	1	1				6
女	1		2	2	7	1	20	9	2	44
計	1	1	4	3	8	2	20	9	2	50

④介護度別利用状況（単位：人）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男				1	5	6
女			4	20	20	44
計			4	21	25	50

⑤年間利用状況

(単位：人)

	5年度	4年度	対前年度(人)	対前年度(比)
1日当たり利用人員	49.4	49.0	0.4	100.8
利用延べ人員	18,074	17,872	202	101.1

(9)短期入所生活介護事業について

指定居宅介護支援事業所との連携を密にし、利用者及び家族のニーズに基づくサービスの提供に努めた。

①短期入所者利用状況

令和6年3月31日現在 (単位：人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	28	28	21	30	26	27	30	27	25	26	27	29	324
延べ利用者数	297	320	280	318	330	329	345	322	330	350	307	322	3,850
1日平均利用者数	9.9	10.3	9.3	10.3	10.6	11.0	11.1	10.7	10.6	11.3	10.6	10.4	10.5

定員10名であるが、長期入所者が入院した場合は、空きベッドを利用して短期利用者を受入れている。

②年間利用状況

(単位：人)

	5年度	4年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	10.5	10.1	0.4	104.0
利用延べ人員	3,850	3,700	150	104.0

3 養護老人ホーム養寿荘

入所者の社会復帰の促進及び自立の為に必要な指導及び訓練などで援助を行うとともに、その有する能力に合わせた自立を目指すものとして日常生活の支援を行った。

処遇計画を作成し、その計画に基づき施設生活における自立支援を目指し、家事・生活援助と介護サービスを行った。

(1)生活面及び健康面について

①生活面においては、季節感等を取り入れるため下記の行事を開催した。

- ・誕生会(毎月開催) ・花見会 ・ 夏祭り ・ 敬老会 ・ 個別外出
- ・久慈秋祭り見学 ・クリスマス会 ・みずき団子づくり ・豆まき ・ひなまつり

②健康面の管理について

嘱託医及び協力病院と連携を図りながら早期対応に努めた。

健康診断を4月・10月の2回実施した。

感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止の対応として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、職員への定期的な抗原検査を実施して、感染の防止に努めた。

令和5年11月11日から令和5年12月4日まで新型コロナウイルス感染症の施設内クラスターが発生し、入所者22名、職員11名が感染した。

施設内での新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、久慈保健所の職員が来設して発生状況の確認と対応の指示を頂き、感染拡大の防止に努めた。

(2)入所者、家族の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約に努めた。

電話連絡や面会時の報告を多くすることで家族とのコミュニケーションに努めた。

(3)地域交流（ボランティア・慰問・地域行事参加）について

ボランティアの受け入れについては、新型コロナウイルス感染症の発生があったが、感染症対策を行ったうえで、2つの保育園と各1回行うことができた。

(4)食事について

食事を楽しんでいただけるよう入所者の身体の状態及び栄養の状態を把握し、嗜好に配慮した季節感のある食事の提供に努めた。

- ①行事食 35回 ②選択食 14回 ③嗜好調査 2回 ④残菜調査 2回
- ⑤手作りおやつ(調理) 3回

(5)委員会活動について

内部組織として、次の委員会を設置し生活の向上に努めた。

- ①行事・レク委員会 行事・レク活動等の準備・計画等を行った。
- ②リスク委員会 事故防止の検討、身体拘束廃止推進等を行った。
- ③広報委員会 定期的にInstagramの更新を行った。
- ③衛生委員会 { 環境 生活環境の改善・整備、物品の管理等を行った。
感染症 感染症予防対策等を行った。
排泄 排泄介助の見直しを行った。

(6) 職員の資質向上について

外部研修への積極的な参加促進に努め、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 51回
- ②内部研修会参加状況 55回（オンライン研修含む）

(7) 入所者の状況について

①月別入退所状況

令和6年3月31日現在（単位：人）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初入所人員数	50	49	50	51	50	50	49	50	50	50	50	50	599
月中入所		1	1				1				1		4
月中退所	1			1		1					1		4
月末入所人員	49	50	51	50	50	49	50	50	50	50	50	50	599

②前住地別入所者状況

（単位：人）

区分	現 員			令和5年度異動状況									
				入 所			退 所						
	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
市町村													
久慈市	10	31	41		2	2			2	2			
洋野町	0	2	2		1	1			2	2			
野田村	0	6	6		1	1							
普代村	0	1	1										
計	10	40	50		4	4			4	4		4	

③年齢別利用者状況

（単位：人）

区分	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男			1	4	2	2	1			10
女		2	4	4	6	7	9	8		40
計		2	5	8	8	9	10	8		50

④月別面会状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
面会者数	16	33	17	22	60	24	18	12	13	10	17	15	257	21.42

※ オンライン面会含む

⑤年間利用状況

（単位：人）

	5年度	4年度	増減	対前年度(比)
1日当たり利用人員	49.9	48.9	1.0	102.0
利用延べ人員	18,258	17,842	416	102.3

4 養寿荘特定施設入居者生活介護事業所

介護保険法及び老人福祉法の改正に伴い、平成18年10月より特定施設入居者生活介護事業所の指定を受け、養護老人ホームの入所者は介護保険による居宅介護サービスを利用することとなり、サービス事業者との契約により施設サービスの一部について外部居宅介護サービス事業者から介護保険サービスの提供を受けている。利用している居宅サービスは訪問介護及び通所介護並びに福祉用具貸与となっている。

①サービス別利用状況

令和6年3月31日現在 (単位:人)

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問介護	40	40	41	40	40	41	40	41	41	41	40	38	483
	通所(大)	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	7	7	90
	通所(山)	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	5	58
	福祉用具	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
計	訪問介護	40	40	41	40	40	41	40	41	41	41	40	38	483
	通所介護	12	12	12	12	13	13	13	12	13	12	12	12	148
	福祉用具	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35

②サービス別利用状況延べ人数

(単位:人)

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	訪問 身体介護	5,206	5,356	5,385	5,584	5,484	5,371	5,356	4,555	5,549	5,505	5,007	5,192	63,550
	介護 生活援助													
	通所介護(大)	48	43	48	45	68	62	70	24	58	59	54	53	632
	通所介護(山)	20	25	20	18	24	20	18	8	19	12	14	15	213
	福祉用具貸与	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
計	訪問 身体介護	5,206	5,356	5,385	5,584	5,484	5,371	5,356	4,555	5,549	5,505	5,007	5,192	63,550
	介護 生活援助													
	通所介護	68	68	68	63	92	82	88	32	77	71	68	68	845
	福祉用具貸与	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35

③介護度別利用状況

(単位:人)

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男			3	3	1	2	1	10
女			6	8	7	7	2	30
計			9	11	8	9	3	40

④年間利用状況

(単位:人)

	5年度	4年度	増減	対前年度(比)
身体介護延べ人数	63,550	60,310	3,240	105.4
生活援助延べ人数	0	30	△30	—
通所介護延べ人数	845	470	375	179.8
福祉用具貸与延べ人数	35	30	5	116.7

5 養寿荘訪問介護事業所

平成19年10月より訪問介護事業所の指定を受け、訪問介護サービスの提供を行った。

①サービス別利用状況

令和6年3月31日現在 (単位:人)

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	40	40	41	40	40	41	40	41	41	41	40	39	484
要支援者													
計	40	40	41	40	40	41	40	41	41	41	40	39	484

②サービス別利用状況延べ人数

(単位:人)

区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要介護者	身体介護	5,206	5,356	5,385	5,584	5,484	5,371	5,356	4,555	5,549	5,505	5,007	5,192	63,550
	生活援助													
要支援者	身体介護													
	生活援助													
計	身体介護	5,206	5,356	5,385	5,584	5,484	5,371	5,356	4,555	5,549	5,505	5,007	5,192	63,550
	生活援助													

③介護度別利用状況

(単位:人)

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男			3	2	1	2	1	9
女			6	7	7	7	2	29
計			9	9	8	9	3	38

④年間利用状況

(単位:人)

	5年度	4年度	増減	対前年度(比)
身体介護延べ人数	63,550	60,310	3,240	105.4
生活援助延べ人数	0	30	△30	—

6 デイサービスセンター（大川目地区・元気の泉・山根地区・宇部地区）

(1)大川目地区デイサービスセンター

・サービス提供時間を6～7時間と7～8時間の混合型での営業として、利用者のサービス向上に努めた。養寿荘で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したため、約2か月間、養寿荘からデイサービスへの利用が休止となった。また、6～8月の間、8名の利用者が亡くなった影響もあり前年度から利用者の延べ人数は減少した。

前年度に引き続き、認知症加算・個別機能訓練加算・口腔機能向上加算・科学的介護推進体制加算を算定し、個別に計画することで利用者の身体機能の維持・向上を図った。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催（対面：2回）して意見を頂き、サービス向上に努めた。

(2)元気の泉デイサービスセンター

・サービス提供時間を7～8時間での営業として、令和3年4月に事業所内のリニューアルを行い、プログラム内容を刷新することで新規利用者の獲得に努めた結果、34名の新規利用者を受け入れ、前年度から利用延べ人数が増加した。

前年度に引き続き、個別機能訓練加算・口腔機能向上加算・科学的介護推進体制加算・ADL維持等加算Ⅱを算定し、個別に計画することで利用者の身体機能の維持・向上を図った。

お試し利用の積極的な受け入れを行い、20名のお試し利用者を受け入れ、うち16名の新規利用に繋げることができた。

山根地区デイサービスセンター及び宇部地区デイサービスセンターへ配食を実施し、事業団のスケールメリットを生かした運営を行った。

(3)山根地区デイサービスセンター

・サービス提供時間を6～7時間での営業として、元気の泉デイサービスセンターからの給食により利用者の状態にあった食事の提供を行い、利用者のサービス向上に努めた。

山根地区の利用者が減少している影響があったが、養寿荘から利用者の受け入れを行い、前年度から利用延べ人数が増加した。

前年度に引き続き、個別機能訓練加算・口腔機能向上加算・科学的介護推進体制加算を算定し、個別に計画することで利用者の身体機能の維持・向上を図った。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催（書面：1回、対面：1回）して意見を頂き、サービス向上に努めた。

(4)宇部地区デイサービスセンター

・サービス提供時間を6～7時間での営業として、元気の泉デイサービスセンターからの給食により利用者の状態にあった食事の提供を行い、利用者のサービス向上に努めた結果、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、前年度と比べ大幅な増減なく運営することができた。

前年度に引き続き、口腔機能向上加算・科学的介護推進体制加算・個別機能訓練加算を

算定し、個別に計画することで利用者の身体機能の維持・向上を図った。

また、地域の方々を中心に構成した運営推進会議を開催（書面：1回、対面：1回）して意見を頂き、サービス向上に努めた。

(5) 共通実施項目

① 計画的な運営管理の維持と実施体制の充実

- ・送迎については、乗降時の見守り、支援による安全、安心な乗降と、可能な限り利用者の希望に沿った送迎体制をとるように努めた。また、送迎計画を基に安全な送迎の実施を行った。

- ・健康確認については、バイタルチェック（体温、血圧、脈拍等）を行うことで、適切な健康状態の把握と対応に努めた。また、体調不良者については、家族及び担当ケアマネジャー等と連携し、早期対応に努めた。

- ・入浴については、利用者及び家族の利用目的の一つが入浴希望となっていることから、利用者の状態に合わせた入浴の実施に努めた。

- ・食事については、栄養士及び調理員が連携し、利用者の身体状況に合わせ栄養、嗜好も考慮し、季節感のある食事の提供に努めた。

- ・感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止の対応として、利用者、職員等の手洗い、うがいと施設、車内の消毒を徹底し、職員への定期的な抗原検査を実施して、感染の防止に努めた。

② 通所介護計画等による適切なサービスの提供

- ・利用者ごとに担当者を決め、担当職員が中心となり個別のケアプランを作成した。このケアプランを基に担当ケアマネジャー等との連携を図り支援内容の充実に努めた。

- ・毎月スタッフ会議を実施して、利用者の情報を共有し、職種間のスムーズな連携に努めた。

③ 利用者及び家族等に対する支援体制の充実

- ・連絡帳の活用や送迎時等、家族との情報交換を実施することで、利用者の健康状態等の把握に努めた。

④ 開かれた施設づくりと、地域との連携強化

- ・開かれた施設づくりを目指して地域との連携強化に努めようとしたが、新型コロナウイルス感染防止に係る対応により、実施することができなかった。

(6) レク活動について

季節行事等を積極的に取り入れ実施した。

また、創作活動を取り入れるなど、利用者の活動意欲を引き出すプログラムを実施した。

(7) 利用者の意見等の反映について

苦情処理相談窓口を設置し、意見や要望の集約を図った。

(8)職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 24回
- ②内部研修会参加状況 36回（オンライン研修含む）

(9)デイサービスセンター間の連携

相談員会議を毎月1回実施し、各デイサービスセンター間の情報交換を行うことで、事業運営、業務の効率化を図った。

(10)利用状況について

①月別利用状況（1日当たり利用人員） 令和6年3月31日現在（単位：人）

	5年度	4年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	14.8 (2.6)	15.3 (1.9)	△0.5	96.7
元気の泉デイサービスセンター	19.3	18.1	1.2	106.6
山根地区デイサービスセンター	9.0 (0.9)	7.8	1.2	115.4
宇部地区デイサービスセンター	14.7	14.5	0.2	101.4
計	57.8 (3.5)	55.7 (1.9)	2.1	103.8

()内は、養寿荘利用者

②年間利用状況（利用延べ人員） （単位：人）

	5年度	4年度	増減	対前年度(比)
大川目地区デイサービスセンター	3,650 (632)	3,759 (470)	△109	97.1
元気の泉デイサービスセンター	5,921	5,523	398	107.2
山根地区デイサービスセンター	2,165 (213)	1,903	262	113.8
宇部地区デイサービスセンター	4,298	4,258	40	100.9
計	16,034 (845)	15,443 (470)	591	103.8

()内は、養寿荘利用者

7 元気の泉居宅介護支援事業所

利用者の委託を受け、心身の状況その置かれている環境等に応じて、利用者の意向に沿った居宅サービス計画を作成し、適切なサービスが提供されるようサービス事業者との連絡調整を図った。

(1) 業務内容について

- ①介護サービス及び介護予防サービス（介護予防・日常生活総合事業）のケアプラン作成をした。
- ②介護支援専門員実務研修実習生の受け入れを行った（1件）。
- ③利用者及びサービス提供等に関する定期会議を開催した。
- ④24時間連絡受付及び相談対応体制の確保を図った。

(2) 職員の資質向上について

外部研修等へ参加し、職員の資質向上を図った。

- ①外部研修会参加状況 12回
- ②内部研修会参加状況 0回（オンライン研修含む）

(3) 利用状況について

①月別・介護度別利用者数

(単位：人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事業対象者	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
要支援1													
要支援2													
要介護1	63	64	63	60	58	59	57	57	62	59	54	62	718
要介護2	51	49	47	46	47	41	39	41	40	41	41	40	523
要介護3	23	24	26	28	26	26	24	25	26	22	24	30	304
要介護4	21	17	17	19	18	18	17	21	19	19	18	17	221
要介護5	5	5	5	5	6	6	5	5	5	4	4	6	61
計	165	161	159	159	156	151	143	150	153	146	142	156	1,841

※事業対象者は「介護予防・日常生活総合事業」の対象者。(平成28年10月より開始)

②年間利用状況（居宅介護支援事業所）

(単位：人)

	5年度	4年度	増減	対前年度(比)
利 用 延 べ 人 数	1,841	1,907	△66	96.5

③利用者及びサービス提供等に関する定期会議の実施（事例検討を含む）

回数 52回（概ね週1回実施、介護支援専門員4名・施設長1名）

④24時間連絡受付及び相談対応件数（時間外・休日等） 71件

8 事業所別稼働率

事業所名	定員	平均利用者数及び稼働率			
		3年度実績	4年度実績	5年度目標	5年度実績
特別養護老人ホーム ぎんたらず久慈	50人	48.0人 (95.9%)	49.0人 (97.9%)	48.5人 (97.0%)	49.4人 (98.8%)
ぎんたらず久慈 短期入所生活介護事業所	10人	10.0人 (99.9%)	10.1人 (101.4%)	10.0人 (100.0%)	10.5人 (105.2%)
養護老人ホーム養寿荘	50人	49.5人 (98.9%)	48.9人 (97.8%)	49.0人 (98.0%)	49.9人 (99.8%)
大川目地区 デイサービスセンター	18人	15.0人 (83.6%)	15.3人 (85.2%)	15.5人 (86.1%)	14.8人 (82.1%)
元気の泉 デイサービスセンター	25人	17.0人 (67.9%)	18.1人 (72.4%)	18.2人 (72.8%)	19.3人 (77.1%)
山根地区 デイサービスセンター	15人	9.7人 (64.4%)	7.8人 (52.0%)	10.4人 (69.3%)	9.0人 (60.1%)
宇部地区 デイサービスセンター	18人	14.5人 (80.3%)	14.5人 (80.5%)	15.0人 (83.3%)	14.7人 (81.5%)
元気の泉 居宅介護支援事業所	—	1,855件	1,907件	1,950件	1,841件

※養寿荘については、月の初日における在所者数の平均値を掲載。()内は稼働率

ぎんたらず久慈及び各デイサービスセンターについては1日当たりの利用者数を掲載。

ぎんたらず久慈短期入所については、長期入所者が入院した場合の空床分を利用。

居宅介護支援事業所については年間の延べ件数を掲載。

5年度目標の欄は、予算作成時の利用者数及び件数を掲載。

ⁱ 通常規模型通所介護…1か月当たりの平均延べ利用者数が301人以上750人以下の通所介護事業所

ⁱⁱ 地域密着型通所介護…1日の利用定員が18人以下の通所介護事業所

